

# 地質・地形を楽しむ鉄道旅へ

—名古屋経済大学犬山学研究センター主催—

名古屋経済大学犬山学研究センターは1月22日に犬山市役所で、犬山固有の地層を活用した観光資源化の可能性について学ぶ勉強会を開催しました。

県や市、市内を拠点に活動する学術機関関係者らが参加する第5回となる勉強会で、深田地質研究所主任研究員で深田研吉オ鉄普及委員会委員の藤田勝代さんが「ジオ鉄入門—大地の物語を楽しむ鉄道旅への誘い」と題し、地質と観光を融合させた先進事例を基に、犬山ならではの見せ方について講演しました。写真。

「鉄道を利用しながら、沿線に広がる自然を楽しむ旅を通して、自然科学に興味を持ってもらえた



ら」の願いのもとで誕生した「ジオ鉄」。

地形、地質、大地、地球を意味する「Geo」

と鉄道、鉄道ファン、鉄道旅行を意味する「鉄」を組み合わせた造語で、大地の物語を読み解く新しい鉄道旅行のスタイルとして2009年に、藤田さんに、藤田さんらにより提案されました。ジオ鉄MAPとして編集された「土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線」

「JR四国・予土線」「JR北海道・富良野線」「三陸鉄道リアス線」などを紹介し、「列車に乗って車窓風景を眺めてもよし、列車の待ち時間に駅周辺の廃線跡などを散策するもよし、沿線のジオの歴史を学び、ジオの風景と列車を一枚の構図で撮影するもよし」など、ジオ鉄の楽しみ方を紹介する藤田さん。

犬山チャートから読み解く地球史、城郭と地形など地質、地形の魅力、犬山橋、犬山に駐在したことのある吉田初三郎の蘇江画室や名勝鳥瞰図、モノレールの廃線跡など

地域にまつわる歴史も挙げ、「ジオ鉄を通して『見て、触れて、感じる』」ことのできる地質遺産、地形遺産とそれらと深く関わる文化遺産が見学地として沿線に存在する」と、「ジオ鉄のススメ」を説きました。

興味深く話を聞いた参加者からは、「電車に乗って地形を学びながら、こうした地質・地形との付き合い方を考えるなど防災にもつながられる」「高山線との広域なら、マップ作成もできるのでは」などの声が上がっていました。

## 観光資源化の

## 可能性について学ぶ